

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|-----------|---------------------|---|-------------|---|---------------|
| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科目区分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科目名 | 臨床心理学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 405 |
| 担当教員 | 黄 善斌、谷口敏淳 | 実務経験と その関連資格 | 医療・学校等の臨床現場における心理療法士(公認心理師、臨床心理士)としての実 践経験がある。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 臨床心理学は、心に関するさまざまな問題を抱える人に対し、心理学的知識や技法を用いて実践的に関わりを持っていく分 野である。理学療法士は患者に対して、リハビリによって機能の回復だけでなく、心のケアも行う必要がある。臨床心理学の 歴史や主な理論、技法、関連領域について学び、これを土台にして実践に役立てる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 定期試験(期末)-85% 平常点-15% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| よくわかる臨床心理学(山口 創 著)川島書店 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 本授業で行う範囲の教科書を通読して予習を行う。 授業終了後は実施した範囲の復習を、教科書、配布資料、復習プリントを使って行う。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 適宜、予習・復習を行うこと。次回の授業に向けての事前学習の指示も授業で行う。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 正常・異常や適応・不適応の定義を理解し、説明することができる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】シラバスを読 む(20分) 【事後学習】本授業の復習 を教科書・配布資料を用い て実施(40分) | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | ガイダンス～臨床心理学とはを学ぶ。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | パーソナリティ理論を理解し説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲 の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習 を教科書・配布資料を用い て実施(40分) | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床心理学の周辺の理論1～パーソナリティ理論について学 ぶ。 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 発達に関する理論を理解し説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲 の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習 を教科書・配布資料を用い て実施(40分) | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床心理学の周辺の理論1～心の発達について学ぶ。 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 様々な精神疾患についての症状・予後について理解でき説明 できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲 の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習 を教科書・配布資料を用い て実施(40分) | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 精神疾患1～神経性発達障害について学ぶ。 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 様々な精神疾患についての症状・予後について理解でき説明 できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲 の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習 を教科書・配布資料を用い て実施(40分) | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 精神疾患2～気分障害、不安障害、統合失調症について学 ぶ。 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|-------------|--|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な精神疾患についての症状・予後について理解でき説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 精神疾患3～パーソナリティ障害、心身症、犯罪・非行について学ぶ。 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な心理アセスメントを理解し、各ケースにおける適応なアセスメントを選ぶことができる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理アセスメント1～心理検査法について学ぶ。 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な心理アセスメントを理解し、各ケースにおける適応なアセスメントを選ぶことができる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 中間試験 心理アセスメント2～心理検査法以外のアセスメントについて学ぶ。 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法1～精神分析療法について学ぶ。 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法2～認知行動療法について学ぶ。 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法3～クライエント中心療法について学ぶ。 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法4～遊戯療法、動作法について学ぶ。 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法5～交流分析、家族療法について学ぶ。 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各心理療法の理論、効果と応用を理解し、説明できる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】本授業の範囲の教科書通読(20分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(40分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 心理療法6～カウンセリングについて学ぶ。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨床心理学における倫理を理解し、いままで学んだことを生かして、臨床現場で役に立てるような方法考えることができる。 | 教科書 配布資料 | 【事前学習】1～15回の授業範囲の復習(40分) 【事後学習】本授業の復習を教科書・配布資料を用いて実施(20分) |
| | | 各コマにおける授業予定 | 臨床心理学における倫理と全体的まとめについて学ぶ | | |